

早稲田大学校友会 大阪府支部ニュース

熱い!
暑い!



甲子園
2015夏

この夏の高校野球は1915年に始まってから100年の記念すべき大会。それに早稲田実業のあの清宮幸太郎君が出るとあって沸きに沸く大会でした。熱気もさることながら酷暑。大阪の校友も多数応援に駆け付け、スタンドで歓声を上げました。「応援団長」山口守さん(昭和51年文)の奮戦記です。

8月8日(土) 1回戦
早 実 6-0 今治 西

朝7時に球場に着いて、あまりの観客の多さに哑然。炎天のもとでもわずかに日陰となるレフト外野席



勝利の選手の笑顔が
すがすがしい

上段の「50段80」へ一目散

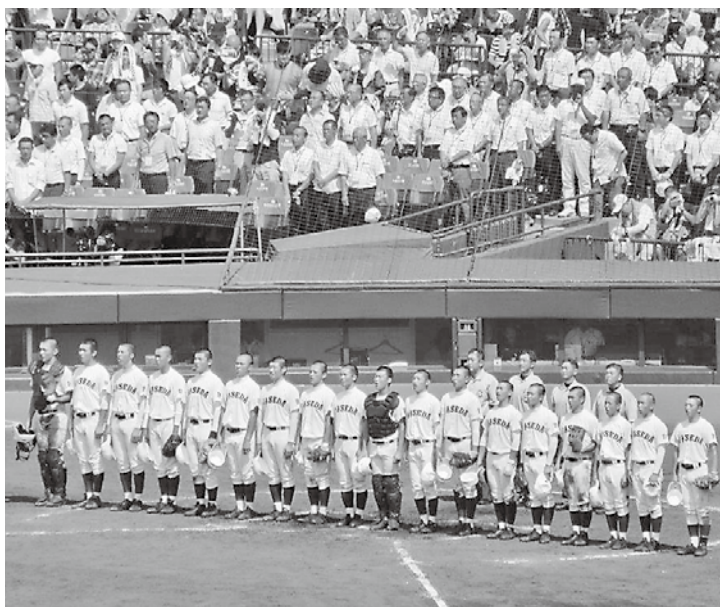
に駆け上がる。早実1塁側アルプス席ははなから入れず、3塁側アルプス席に何とか入った校友は「心で早実、顔は今治西を応援した」とか。球場内は超満員で移動もできず、校友仲間の集まりは無理だったが、観戦後にそろって尼崎のスーパ―銭湯へ。

「汗だく甲子園 湯ったり着替えてさっぱりスーパ―銭湯」

8月13日(木) 2回戦

早 実 7-6 広島新庄

早朝の雨にもかかわらず観客4万4千人。隠れスポットのレフト外野席上段へ。1塁側の早実応援団席



が眼下に見渡せる。試合開始と同時に、得点はまだなのに「紺碧の空」で応援団合唱。気合が入っている。

8月15日(土) 3回戦

早 実 8-4 東海大甲府

清宮、加藤の連続ホームランで盛り上がる。「紺碧の空」が球場全体に鳴り響く。

「ついに出了 清宮ホーム ベスト8へ」

8月17日(月) 準々決勝

早 実 8-1 九州国際大付

4試合連続の第一試合。早実アルプス席にやつと入

れた。早実への応援が集中するアルプス席での応援は格別だ。富田2打席連続本塁打。清宮も一発。早実野球部のユニフォーム姿のチアリーダーが乱舞する。

「夢乗せて 富田ホーム

ー 白い虹」

8月19日(水) 準決勝

早 実 0-7 仙台育英

無念……。

「甲子園 旅行代理店も大忙し 経済効果」

最近の甲子園のプラスパンドの「アメリカンシンフ

オニー」「狙いうち」ではなく、早実の応援は「コンバットマーチ」「紺碧の空」とても懐かしい。

早実の学校仕立ての応援生徒募集案内では「東京出發、学校の補助込でアルプス席を含む旅行代金2万9千円(バス車中泊、帰りは新幹線)」。応援に來れない生徒に代わって、関西在住のワセダマンやワセ女が超リーズナブルで応援に参加できるのに。来年春のセンバツで実現できますように。

▲校歌を高らかに
早実の1塁側アルプススタンドは立錐の余地なし





裁判や法律の仕組みなどを子供たちに知ってもらおう企画「早稲田ジュニアロースクール」が7月29日、大阪市北区西天満のエートスステーションで開催された。校友会大阪府支部が昨年に続いて主催し、小中学生8人と保護者らが参加した。

ろう企画で、早稲田OBの弁護士でつくる近畿法曹稲門会とエートス法律事務所の協力で開催した。

開講にあたって近畿法曹稲門会代表幹事の小原正敏

弁護士が刑事裁判と民事裁判の違いや弁護士、検察官の役割などをわかりやすく解説。続いて徒歩5分ほどの大阪地方裁判所へ法廷傍聴に向かった。

弁護士らの話を聞くだけでなく、実際の裁判を傍聴して法律を身近に感じてもらった。

弁護士や校友スタッフら



裁判の仕組みを解説する小原弁護士

の案内で2班に分かれて傍聴。1班は建造物侵入、窃盗未遂の事件。倉庫に忍び込んでアルミ缶を盗もうとした男の裁判で、検察官や弁護人による被告人への質問や更生をサポートしようとする証人尋問などが緊迫した法廷のなかで繰り広げられ、初めて目の当たりにする子供たちは真剣な面持ちで見つめていた。

もう1班は無免許運転、信号無視の道路交通法違反事件。30分余りの法廷が長く感じられないほど、子供たちは張りつめた様子でやり取りを見守っていた。

傍聴後は、エートス事務

所ビルの1階にある会議室のエートスステーションに戻り、小学生と中学生に分かれて弁護士による講義を受けた。小学生は浅井真央弁護士、中学生は藤田沙穂里弁護士。2人とも稲門の気鋭の若手女性弁護士だが、優しく語りかけ、緊張気味だった子供たちも次第に気分がほぐれ、「若いうちから法律だけでなく、いろんなことに目を向けて幅広く勉強してください」との話に目を輝かせていた。

昼食懇談には2人の弁護士のほか、稲門の弁護士も駆けつけ、子供たちとお弁当を食べながら弁護士の仕事の面白さなどについてなごやかに語った。「お給料はいくらですか」との質問にたじたじする弁護士もいて笑いを誘っていた。

参加した小学生の一人は「裁判はちょっと怖いなと思っていただけおもしろかった」と言い、中学生の一人は「弁護士になりたい気持ちがいっそう強くなりました」と満足した様子だった。



弁護士を囲んで懇談する参加者

校友会ゴルフ大会

稲部さん連覇



第6回校友会大阪府支部
ゴルフ大会が9月12日
(土)、池田カンツリー倶楽
部で開催された。大阪早稲
田倶楽部を中心とした校友
だけでなく京都や神戸の稲
門会、職域の関西不動産稲
門会、さらに同志社大の校
友の方々や校友のご友人ら
の参加も得て16組59人がダ

ブルペリア方式で競った。
優勝は稲部勝博さん(昭和
60年商)。前回に続いている
栄冠に輝いた。

親睦を旨とし、楽しく和
気藹々とした雰囲気の中で
プレーは進んだが、ここ一
番では真剣プレーで、少し
前には台風18号が上陸し、
お天気も心配されたが、晴

れ上がり、残暑もなく心地
よいラウンドを満喫できた
ようだ。

優勝の稲部さんは79のス
コアでベストグロス賞も獲
得。吉川一三支部長から優
勝カップを贈られ、「優勝
できてほんとに嬉しいで
す。大会の幹事をしている
者が2年続けて取ってしま
い、すみません」と恐縮し
ていた。

大会には校友を中心とし
た企業のみならずから協賛
品を多数いただき、賞品に。
ホテルのペア宿泊券や食事



吉川支部長(左より優勝カ
ップを贈られる稲部さん



松茸や近江牛、キャディバッグな
ど豪華賞品を手に喜びの参加者

券、デジタルカメラ、
百貨店商品券、玄関
マット、キャディバ
ッグ、ビール、洋菓
子、カレール、アンパ
ンマングッズ、ゴル
フボールなどのほ
か、同志社大商学部
樹徳会様からは松茸
と近江牛のご提供を
受け、今年も豪華賞
品オンパレードとな
った。

全員に賞品が当た
り、発表のたびに歓
声がわいた。レディ
ス部門では薮田麻夕
子さん(平成4年法)

校友会大阪府支部総会

日時 平成27年11月12日(木)
16:00～

会場 大阪新阪急ホテル(大阪市北区芝田)

第1部 早稲田摂陵高ウインドバンド
OG「みつばち会」
吹奏楽演奏 16:00～

第2部 地域フォーラム講演会 16:30～
鎌田 薫 総長
「早稲田大学のめざすもの」
松原 芳博 教授
「刑罰の存在理由」

第3部 校友会大阪府支部総会 18:10～

第4部 懇親会 19:00～

※懇親会会費 8,000円
演奏会、講演会、総会の参加は無料

発行 早稲田大学校友会大阪府支部

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35
大阪新阪急ホテル3階
TEL 06(6377)2001
FAX 06(6377)2003



第6回校友会ゴルフ成績

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
1	稲部 勝博	41	38	79	8.4	70.6
2	竹田 雅幸	37	45	82	9.6	72.4
3	島田 隆史	47	52	99	26.4	72.6
4	吉村 建二	51	59	110	37.2	72.8
5	田中 清	41	41	82	8.4	73.6
6	金本 基弘	41	41	82	8.4	73.6
7	金光 秀人	44	44	88	14.4	73.6
8	熊澤 一郎	52	48	100	26.4	73.6
9	中尾 拓司	44	43	87	13.2	73.8
10	尹 聖仁	43	43	86	12.0	74.0
11	吉川 一三	49	48	97	22.8	74.2
12	滋野 雅之	43	40	83	8.4	74.6
13	薮田麻夕子	52	55	107	32.4	74.6
14	平岡 史生	44	49	93	18.0	75.0
15	森本 宏	44	48	92	16.8	75.2
16	南 美樹	46	45	91	15.6	75.4
17	前田 修	46	43	89	13.2	75.8
18	池部 亨	47	41	88	12.0	76.0
19	森元 泉	48	51	99	22.8	76.2
20	林 仁	57	54	111	34.8	76.2

が1位をゲット。今回を機
にゴルフを「引退」され
るという元京都府支部長の

脇巖さん(昭和42年商)は
大阪府支部と長い交流があ
り、大層お世話になってお

り、この日、「格別功労賞」
として高級玄関マットが贈
られた。

華やか

新年会

校友会大阪府支部と大阪早稲田倶楽部との合同新年会が1月17日（土）、大阪市天王寺区のシエラ

トン都ホテル大阪で開催されました。これまでに最多の140人が参加し、初企画のオペラ歌手によるステージもあり、

新春にふさわしい華やかな宴となりました。

歌手は、関西二期会所属の濱崎加代子さん（ソプラノ）と澤井宏仁さん（バリトン）の二人で、まず、「早稲田の栄光」が朗々と歌われる中を校友が会場に入り、着席。



早稲田校友会大阪府支部×大阪早稲田倶楽部 合同新年会

今までにない趣向にみなさん驚く一方、迫力ある歌声に魅せられた様子でした。

続いてオペラ「フィガロの結婚」やミュージカル「マイフェアレディ」などからの人気の歌曲が披露され、最後は無伴奏の校歌。拍手は鳴り止みませんでした。

新年会では吉川一三・校友会大阪府支部長が冒頭、あいさつに立ち、「伝統ある大阪早稲田倶楽部と校友会は新たな時代に向けてさらに歩みを進める必要があります」と、兄弟のような関係にある両組織の今後の在り方について一石を投じました。乾杯に続いて、先輩、後輩のいつものなごやかな談笑があちこちで見られました。初参加の方もあり、紹介を受けながら和気藹々としたムードで楽しんでおられました。晴れ着姿の女性を囲んでスマホでパチリという光景も見られ、最後に全員で記念写真を撮って締めました。



校友会大阪府支部と大阪早稲田倶楽部共催の新年会を来年（平成28年）1月16日（土）午後1時より、シエラトン都ホテル大阪（近鉄大阪上本町駅、地下鉄谷町9丁目駅下車）で開催します。恒例の新年会で、新

春にふさわしいステージも用意します。みなさまぜひご参加ください。会費800円（39歳以下は半額）。申し込みは、校友会大阪府支部事務局（06-6377-12001）へ。



大阪早稲田倶楽部の恒例の倶楽部祭と新人歓迎会（校友会大阪府支部共催）が4月11日（土）、KKRホテル大阪（森ノ宮）で開催されました。新入会員13人を迎え、計47人が参加。楽しく盛り上がりしました。今年も、ステキなマダムから元応援部まで個性豊かな

新人さんが揃いました。なごやかな歓談が進んだ懇親会の締めは、和田浩孝・倶楽部事務局長（平成1年教育）の発声のもと、元応援部副将・浦和高校出身の新人阿部亮平さん（平成23年法）による元気なエール指導で、思いっきり校歌斉唱となりました。

校友会事務局 一時移転 11月末～4月末

校友会大阪府支部事務局は現在、梅田の大阪新阪急ホテル3階にありますが、同ホテルの耐震補強工事に伴い、11月末、同じ3階の中央南側フロアの別の部屋に移転します。

工事はホテルの営業を続けながら順次行われ、4月末には現在の事務局がある3階西側の工事を終えますが、同じ場所に戻るのではなく、同じ西側フロアの別の部屋に移ります。

なお、電話・ファックス、住所は変わりません。